

平成29年11月30日

NASVA（自動車事故対策機構）

企画部 島田、岩本、小瀬

電 話 03-5608-7584

N A S V A

平成29年度上半期業務実績について

NASVA第4期中期計画及び平成29年度計画に基づき取り組んでいる各業務の今年度上半期業務実績の概要につきまして、別紙のとおり公表いたします。

なお、上半期においては、

○国の「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」
に対応した巡回指導支援の開始、

○一貫症例研究型委託病床の委託病院を選定、

したことを始め、各業務とも概ね順調に進んでいる状況です。

(別紙)

1. 指導講習

指導講習全体の受講者数は、59,295人となりました（前年同期比 約0.5%増）。

インターネット予約により早期予約が可能となる等の利便性を強調して説明したことにより、利用者が増え、インターネット予約による受講割合は、年度目標 80%を上回る 93.2%（前年同期比 2.7 ポイント増）となりました。インターネット予約の増加は利用者の利便性向上だけでなく NASVA の業務効率化にも役立っています。

2. 適性診断

適性診断全体の受診者数は、前年同期とほぼ横ばいの 250,338人となりました（前年同期比 約 0.2%減）。

予約方法について、指導講習と同様の取組を実施した結果、インターネット予約による受診割合は、年度目標 70%を上回る 80.7%（前年同期比 4.5 ポイント増）となっています。

また、ナスバネット^(注1) 導入契約事業者等による支所以外での一般診断の受診割合は、54.1%（前年同期比 2.7 ポイント増）となっています。

(注1) ナスバネットとはインターネットを活用した適性診断システムのこと。

3. 安全指導業務（指導講習・適性診断）の民間参入支援

適性診断認定機関であり、当機構のナスバネットを利用している 62 者に対し、23,069 件（前年同期比 約 10%増）のナスバネットによる受診測定を実施した。また、指導講習認定機関となっている団体等に対し、NASVA の作成した指導講習教材の提供を 30,988 部（前年同期比 約 34%増）行いました。さらに、国土交通省の認定資格要件を取得される団体等向けに、適性診断事業の「第一種カウンセラー要件取得研修」及び指導講習事業の「第一種講師要件取得研修」を実施しました。

このような民間団体等の認定取得の支援を行った結果、指導講習では累計 91 者、適性診断では累計 77 者が、国土交通省の認定を受け、事業実施に参入しています。



（第一種カウンセラー要件取得研修）



（第一種講師要件取得研修）

4. 安全マネジメント関連業務

(1) 安全マネジメントコンサルティング等

運送事業者等に対して運行の安全管理体制の構築等を支援するため、コンサルティング、講師派遣、安全マネジメント関係講習会及びマネジメント評価を実施しました。

(2) ISO 39001（道路交通安全マネジメントシステム）^(注2) 国内審議委員会事務局活動

第11回 ISO 39001 国際会議が、平成29年10月・11月に東京で開催され、ISO 39001 国内審議委員会事務局である NASVA は、幹事国であるスウェーデンと連携を図り会議を運営しました。

日本の ISO 39001 の認証取得状況及び具体的な取組などを会議で発表するとともに、その後、国際会議で得られた各国の情報等を ISO 関係機関等との間で情報を共有しました。

また、上記の国際会議の開催を受けて、平成30年1月、ISO 39001 道路交通安全マネジメントシステム国内審議委員会を開催し、委員を招集する計画となっており、その中で、日本及び各国における ISO 39001 の認証取得状況及び最新情報等を委員に提供する予定となっております。

(注2) 国際標準化機構（ISO）において定められた国際規格の一つで、「道路交通事故による死亡・重傷の撲滅」を目指し、2012年10月1日に発行

(3) 安全マネジメントセミナーの開催

10月24日に東京国際フォーラム（東京都千代田区）において「第12回 NASVA 安全マネジメントセミナー」を開催し、1,119人の方にご参加いただきました。



セミナーでは、各界より講師をお招きし、ご講演いただいたほか、自動車運送事業者様等から安全確保のための具体的な取組状況をご報告いただきました。

(4) 貸切バス事業者安全性評価認定制度^(注3)への支援

（公社）日本バス協会の貸切バス事業者安全性評価認定制度について、昨年度に引き続き、同制度へ申請した事業者のうち215事業者に対し現地訪問による審査を実施しました。

(注3)（公社）日本バス協会において、観光バス等の貸切バス事業者からの申請に基づき安全性や安全の確保に向けた取組状況について評価認定を行い、これを公表するもの

(5) 貸切バス適正化事業^(注4)への支援

国土交通省の指定を受けた一般貸切旅客自動車運送適正化実施機関が実施する貸切バス事業者に対する巡回指導を75事業者に実施しました。

(注4) 平成28年1月に発生した軽井沢スキーバス事故を受け、平成28年6月にとりまとめられた「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」を受け、改正された道路運送法に基づき、一般貸切旅客自動車運送適正化実施機関を組織し、貸切バス事業者に対する法令遵守状況の確認・改善指導を目的とした巡回指導を本年8月より実施

5. 療護施設の設置・運営

(1) 脱却者数^(注5)

入院患者(遷延性意識障害者)の状態に応じた適切な治療及び看護等に努めた結果、療護施設^(注6)の脱却者数は、9人となりました。

(注5) 意思疎通・運動機能が一定以上改善し、療護施設を退院した患者の数

(注6) NASVA が遷延性意識障害者の専門病院として設置・運営委託を行っている療護センター(全国4箇所)及びNASVA 委託病床(全国4箇所)の総称

(2) NASVA 委託病床^(注7)の拡充

「一貫症例研究型委託病床^(注8)」については、平成29年4月に委託先病院を募集するための入札公告を行い、「委託病床に係る総合評価委員会」の審議を経て、10月に藤田保健衛生大学病院(愛知県豊明市)と委託契約を締結しました。平成30年1月より急性期患者の受入れを開始する予定となっています。

(注7) 一般病院の施設を利用した療護施設機能を有する病床

(注8) 事故直後から患者を受け入れ、治療からリハビリまでを一貫して担う新型病床

(3) 療護施設の広報活動

治療改善効果を高めるため事故後早期の入院ができるよう、救命指定病院等の病院、損害保険会社の保険金支払い部門及び自動車事故被害者に対して、療護施設の広報を行っています。

(4) 療護施設の知見・成果の普及活動

療護センターで得られた知見・成果を他の医療機関等において最大限活用する観点から(3)に掲げた広報の取組のほか第26回日本意識障害学会等において計30件の学会発表を行うとともに、短期入院協力病院の看護師等に対する専門研修を実施しました。

6. 重度後遺障害者に対する援護

(1) 訪問支援

介護料受給資格者^(注9)等の支援のため、直接自宅を訪問して、介護に関する相談対応・情報提供を行う訪問支援について、1,957人に対して実施しました。

(注9) 介護料受給資格者とは、後遺障害の程度に応じて介護料受給資格の認定を受けた者



(2) 介護料受給者等の交流会

訪問支援による精神的な面での支援に加え、同じ境遇にある各家庭の介護者等が介護における悩みを共有し、互いに情報交換をしていただくよう交流会を3支所において4回開催し、その他の支所についても下半期に実施することを予定しています。

(3) 介護料の支給

自動車事故を原因とする重度の後遺障害により、常時又は随時の介護が必要な方に対し、後遺障害の程度、介護の状況に応じて介護料を支給しました。支給実績は4,696人となっております。

今後も被害等の状況に応じた介護料の支給を適切に行っていきます。

(4) 短期入院・入所への支援

介護料受給資格者に係る短期入院・入所費用に係る助成について、延べ 742 人に対して行いました。

また、短期入院協力病院・短期入所協力施設^(注10)(以下「協力病院等」)の利用促進を図るため、訪問支援・交流会を通じ、介護料受給資格者と協力病院等との間をつなぎ、利用前後のフォローアップを行っています。

(注10) 短期入院協力病院・短期入所協力施設とは、国土交通省が指定した介護料受給資格者の短期入院・入所(原則、1 回の入院が 2 日以上 14 日以内)を積極的に受け入れている病院・施設のこと

7. 交通遺児等に対する支援

自動車事故による交通遺児等の方に対する育成資金の新規貸付は 3 件あり、貸付利用者総数は 126 人となりました。貸付制度の広報のため、各主管支所・支所を通じ、地方自治体や各損害保険会社、JA 共済、市町村、教育委員会等へリーフレットを配布しています。

さらに、交通遺児とその家族を会員とする「友の会」において、以下の活動を行い、被害者家族同士のコミュニケーションや交通遺児等の健全な育成を図る精神的支援を行いました。

(1) 友の会の集い

被害者家族同士の交流の場として「友の会の集い」を 45 支所で実施しました。



(2) 保護者交流会

「友の会」に所属する交通遺児の保護者同士が悩み事を語り合い親睦を深める場として「保護者交流会」を 45 支所で実施しました。

(3) 企業等からの支援

コスモエネルギーホールディングス(株)主催の 2 泊 3 日のキャンプ体験や、(株)マイナビが協賛するプロ野球オールスターゲームの招待等、多くの企業等から友の会会員にご支援をいただきました。



8. NASVA 交通事故被害者ホットライン利用実績

ホットラインへの相談件数は 862 件で、ホットラインを知った情報源は、インターネットからとするものが半数以上を占めています。主な問い合わせ内容は、「事故後の

対応や事故に関する全般的なこと」、「保険金・保険会社に関すること」、「損害賠償のこと」「機構の各種支援制度」についてでした。

9. 自動車アセスメント情報提供業務

(1) 自動車アセスメントにおける評価

予防安全性能評価で8車種中7車種、衝突安全性能評価で4車種中2車種が最高評価を獲得しており、ユーザーがより安全な車を選択できるようにするとともに、自動車メーカーによる安全な車の開発を促進しています。



(2) 自動車アセスメント関係国際会議に参加

6月5日から米国で開催されたESV会議（自動車の安全性向上のための会議）及び9月11日からベルギーで開催されたグローバルNCAP会議に出席し、意見交換と情報共有を行いました。



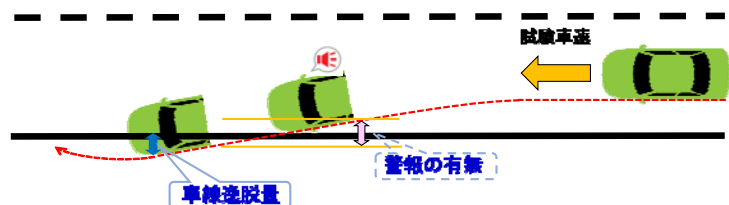
(3) 予防安全性能評価の拡充

近年の安全な自動車へのニーズの高まりとともに、緊急時に自動でブレーキをかける技術のような事故を未然に防止する技術、いわゆる「予防安全技術」を搭載した車が急速に普及しています。このことを踏まえ、本年度からは「車線逸脱抑制装置」の評価を開始しました。



車線逸脱抑制装置とは、自動車に搭載されたカメラが車線の位置を認識して、ブレーキやハンドルにより車線内を維持するよう車両の動きを制御したり、車線からはみ出しそうになった場合などに、車両を車線内に戻そうとする装置です。

これによって、路外逸脱によってガードレールや建物などに衝突する事故やセンターラインを越えて自動車などに正面衝突するような事故を防ぐことができます。

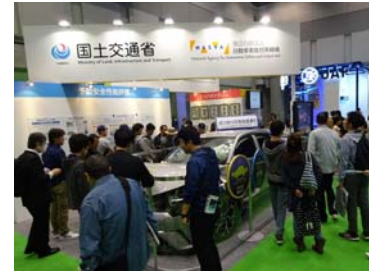


試験方法の概要などについては、以下のホームページをご参照ください。

予防安全性能アセスメント HP：http://www.nasva.go.jp/mamoru/active_safety_search/

(4) 被害者援護業務との連携及び自動車アセスメントの周知

国内最大級の自動車関係イベントである東京モーターショーに出展し、試験車両の展示や試験結果の紹介等、自動車アセスメント事業に係る広報のほか、交通遺児等及び重度後遺障害者の創作作品を展示し、被害者援護業務等のPRと自賠責保険の確実な加入を促すための広報・啓発活動を実施しました。



また、地方支所において、交通安全関係イベント等に出展し、試験車両の展示や簡単・確実な装着が可能なISO-FIX方式のチャイルドシートの装着体験の実施等により、自動車アセスメントを中心としたNASVA業務全体の周知を行ったほか、交通事故被害者交流会において、これ以上交通事故被害者を増やさないために、自動車アセスメント事業が、より安全な自動車の普及に取り組んでいることを紹介しました。



10. 広報実績

本年4月に東京都新宿区で行われた「交通安全。アクション2017新宿（主催：（一社）日本自動車会議所、警視庁新宿警察署）」に出展し、ナスバネットの体験受診を実施するとともに、安全指導業務、被害者援護業務及び自動車損害賠償保障制度周知などの広報を行いました。



【「交通安全。アクション2017」のブースの様様】

また、昨年度に引き続き東京日本橋において「ナスバギャラリーIN東京」を9月に開催し、交通遺児等及び重度後遺障害者の創作作品を展示し、一般の方にNASVAの被害者援護業務等のPRと自賠責保険の確実な加入を促すための広報・啓発活動を実施しました。



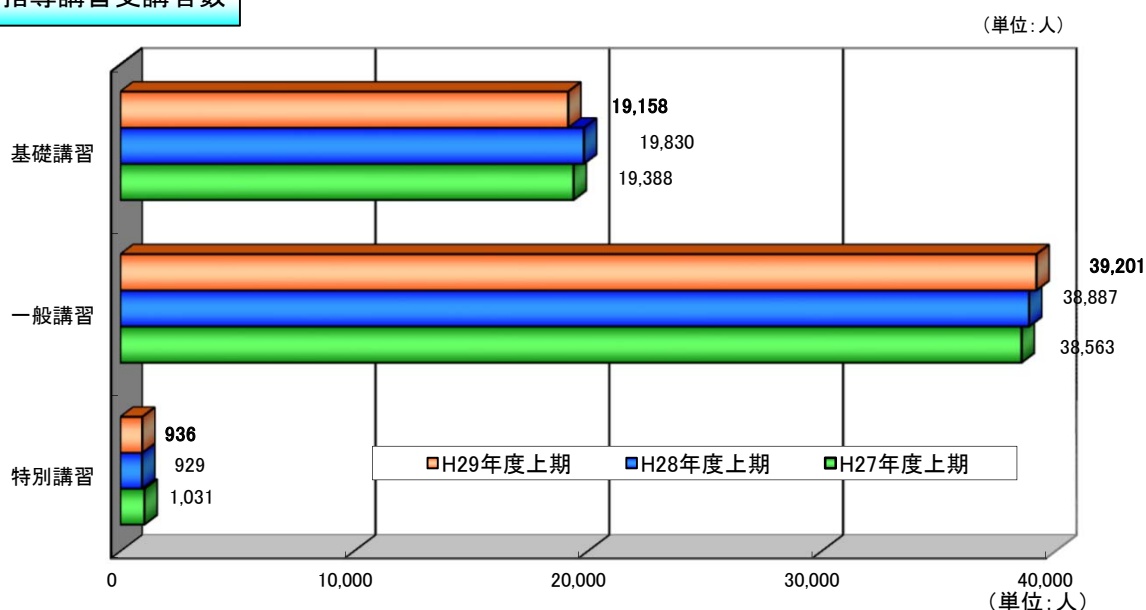
【「ナスバギャラリーIN東京」の様子】

各支所においては、交通安全県民フェア等の各種イベント等に積極的に参画し、動体視力やナスバネットの体験受診、自動車アセスメント試験車両の展示等を行うとともに、被害者援護業務及び自動車アセスメント等のパンフレットを配布し、NASVA業務のPRを実施しました。

1. 指導講習実績関係、2. 適性診断実績関係

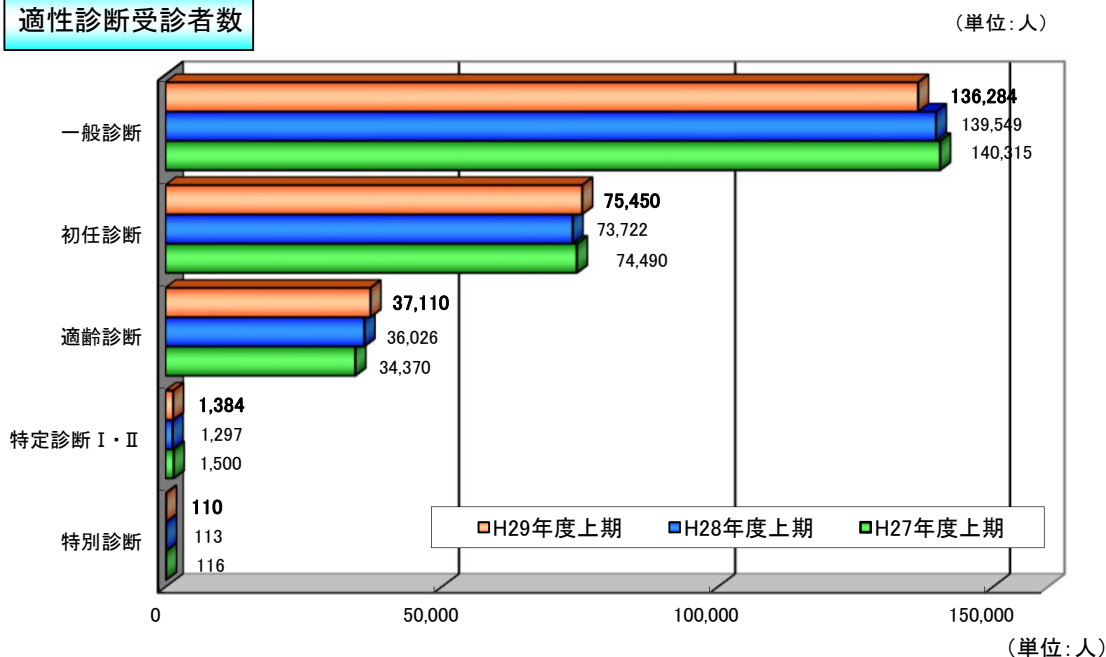
別添資料

指導講習受講者数



	H27年度上期	H28年度上期	H29年度上期	対前年同期比(%)
基礎講習	19,388	19,830	19,158	96.6
一般講習	38,563	38,887	39,201	100.8
特別講習	1,031	929	936	100.8
合計	58,982	59,646	59,295	99.4

適性診断受診者数



	H27年度上期	H28年度上期	H29年度上期	対前年同期比(%)
一般診断	140,315	139,549	136,284	97.7
初任診断	74,490	73,722	75,450	102.3
適齢診断	34,370	36,026	37,110	103.0
特定診断Ⅰ・Ⅱ	1,500	1,297	1,384	106.7
特別診断	116	113	110	97.3
合計	250,791	250,707	250,338	99.9

指導講習業態別・講習別実績

○平成29年度上期

(単位:人)

	バス	ハイタク	トラック	事業用計	その他	総計	対前年同期比
基礎講習	3,157	1,631	13,282	18,070	1,088	19,158	96.6%
一般講習	6,217	4,831	27,942	38,990	211	39,201	100.8%
特別講習	119	185	631	935	1	936	100.8%
総計	9,493	6,647	41,855	57,995	1,300	59,295	99.4%

○平成28年度上期

(単位:人)

	バス	ハイタク	トラック	事業用計	その他	総計	対前年同期比
基礎講習	2,741	1,728	14,259	18,728	1,102	19,830	102.3%
一般講習	6,370	4,600	27,743	38,713	174	38,887	100.8%
特別講習	74	157	698	929	-	929	90.1%
総計	9,185	6,485	42,700	58,370	1,276	59,646	101.1%

○平成27年度上期

(単位:人)

	バス	ハイタク	トラック	事業用計	その他	総計	対前年同期比
基礎講習	2,284	1,729	14,405	18,418	970	19,388	103.6%
一般講習	5,767	4,466	28,194	38,427	136	38,563	88.4%
特別講習	138	197	696	1,031	-	1,031	116.0%
総計	8,189	6,392	43,295	57,876	1,106	58,982	93.3%

適性診断業態別・診断別実績

○平成29年度上期実績

(単位:人)

	バス	ハイク	個タク	トラック	事業用計	自家用	総 計	対前年同期比
一般診断	16,414	7,773	2,433	98,634	125,254	11,030	136,284	97.7%
特別診断	37	12		29	78	32	110	97.3%
任意計	16,451	7,785	2,433	98,663	125,332	11,062	136,394	97.7%
初任診断	6,890	8,011		59,959	74,860	590	75,450	102.3%
適齢診断	4,526	18,759	4,640	8,621	36,546	564	37,110	103.0%
特定診断Ⅰ	206	467	46	549	1,268	78	1,346	104.7%
特定診断Ⅱ	12	12	2	11	37	1	38	316.7%
義務計	11,634	27,249	4,688	69,140	112,711	1,233	113,944	102.6%
総 計	28,085	35,034	7,121	167,803	238,043	12,295	250,338	99.9%

○平成28年度上期実績

(単位:人)

	バス	ハイク	個タク	トラック	事業用計	自家用	総 計	対前年同期比
一般診断	17,078	7,489	2,644	101,120	128,331	11,218	139,549	99.5%
特別診断	30	28	0	25	83	30	113	97.4%
任意計	17,108	7,517	2,644	101,145	128,414	11,248	139,662	99.5%
初任診断	6,867	8,150	0	58,235	73,252	470	73,722	99.0%
適齢診断	3,936	18,852	4,618	8,216	35,622	404	36,026	104.8%
特定診断Ⅰ	180	431	46	568	1,225	60	1,285	87.3%
特定診断Ⅱ	3	4	1	3	11	1	12	42.9%
義務計	10,986	27,437	4,665	67,022	110,110	935	111,045	100.6%
総 計	28,094	34,954	7,309	168,167	238,524	12,183	250,707	100.0%

○平成27年度上期実績

(単位:人)

	バス	ハイク	個タク	トラック	事業用計	自家用	総 計	対前年同期比
一般診断	15,517	9,555	2,708	102,647	130,427	9,888	140,315	98.5%
特別診断	34	19	0	32	85	31	116	103.6%
任意計	15,551	9,574	2,708	102,679	130,512	9,919	140,431	98.5%
初任診断	6,612	8,814	3	58,562	73,991	499	74,490	99.2%
適齢診断	3,301	19,254	4,222	7,264	34,041	329	34,370	112.2%
特定診断Ⅰ	180	547	64	638	1,429	43	1,472	106.4%
特定診断Ⅱ	9	10	0	9	28	0	28	127.3%
義務計	10,102	28,625	4,289	66,473	109,489	871	110,360	103.0%
総 計	25,653	38,199	6,997	169,152	240,001	10,790	250,791	100.4%

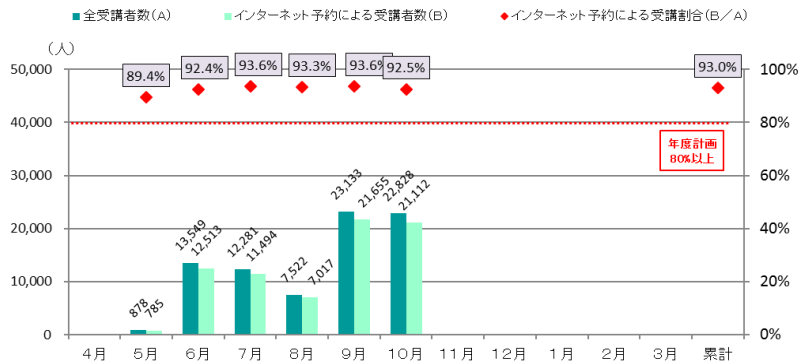
指導講習・適性診断(その他の業務実績)

1. インターネット予約による受講割合(指導講習) (月別)

	平成28年度 上期	平成29年度 上期
全受講者数(A)※	58,727	57,363
インターネット予約による 受講者数(B)	53,495	53,464
インターネット予約 の割合(B/A)	91.1%	93.2%

※基礎・一般講習の受講者数合計

【指導講習】インターネット予約による受講割合(基礎、一般の合計)

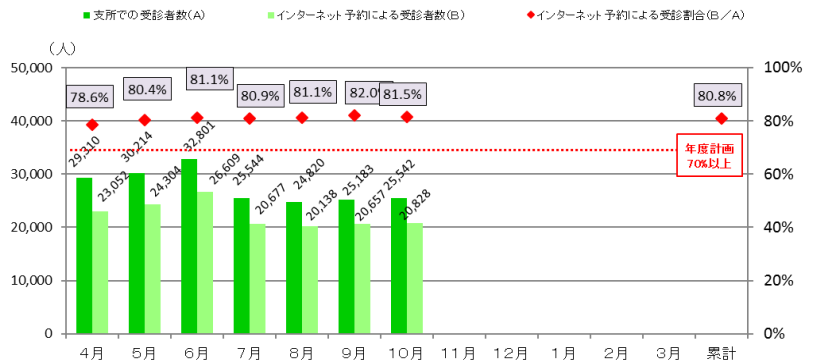


2. インターネット予約による受診割合(適性診断) (月別)

	平成28年度 上期	平成29年度 上期
全受診者数(A)※	171,633	167,872
インターネット予約による 受診者数(B)	130,842	135,437
インターネット予約 の割合(B/A)	76.2%	80.7%

※一般・初任・適齢診断の支所内受診者数合計

【適性診断】インターネット予約による受診割合(一般、初任、適齢の合計)

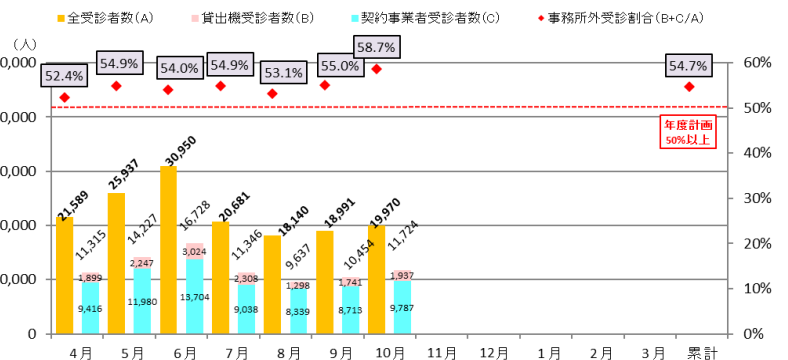


3. 支所外での一般診断受診割合

	平成28年度 上期	平成29年度 上期
全受診者数(A)	139,549	136,288
ナスバネットによる 受診者数(B)	12,481	12,517
ナスバネット契約事業者 における受診者数(C)	58,188	61,190
支所外での受診率 (B+C/A)	50.6%	54.1%

(月別)

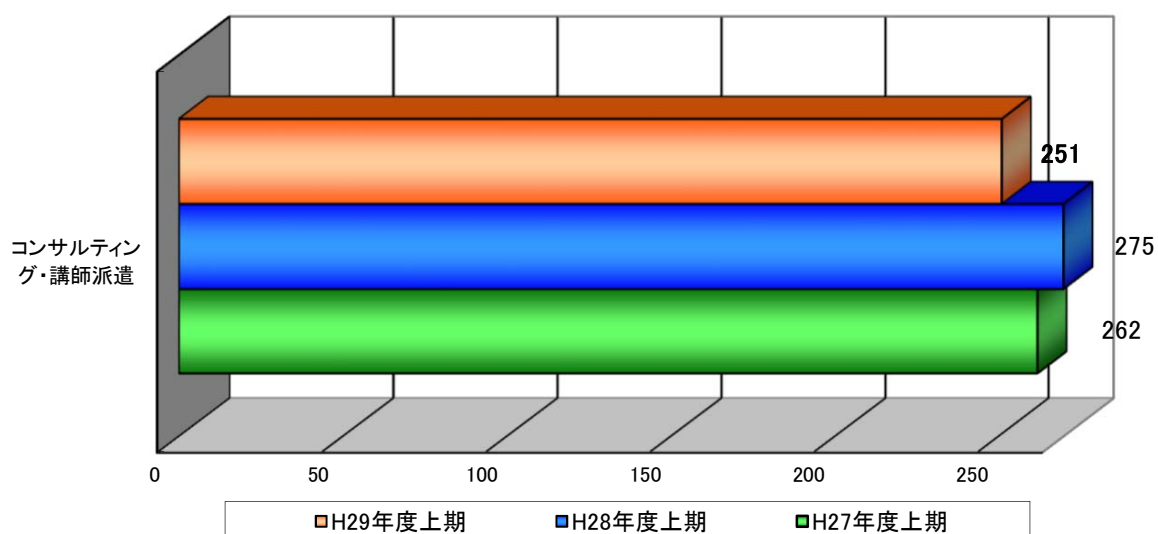
【適性診断】事務所外受診割合(一般診断のみ)



4. 安全マネジメント関連業務実績関係

コンサルティング・講師派遣

(単位: 件)

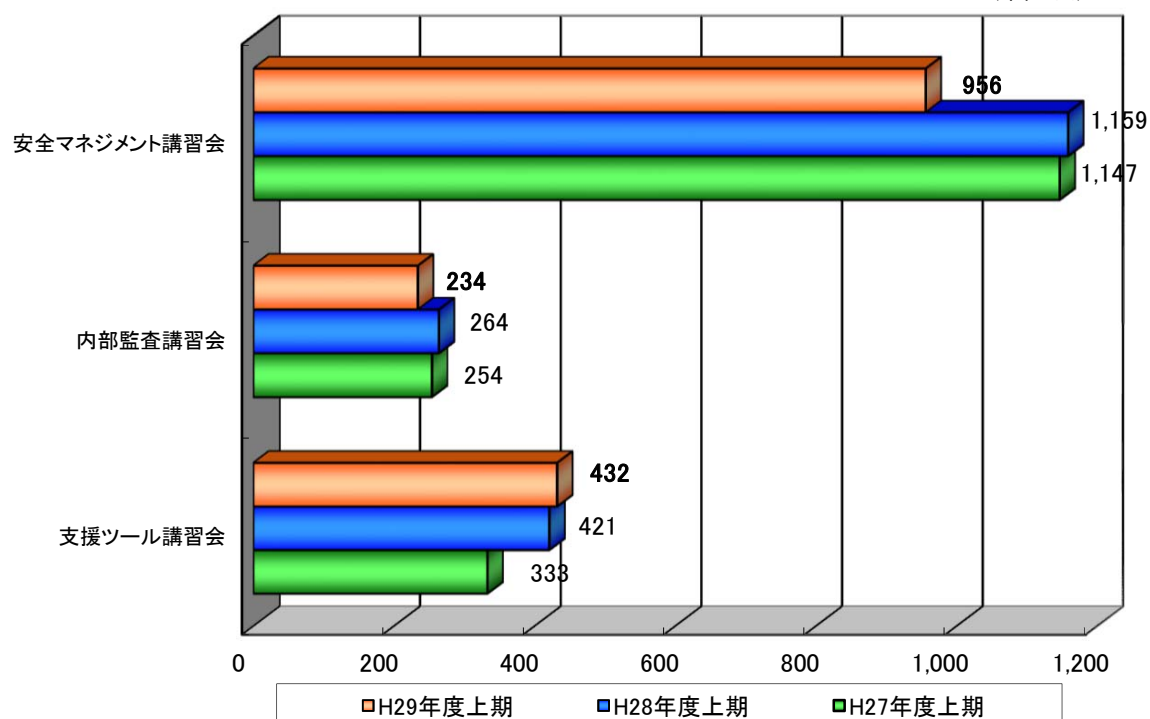


(単位: 件)

	H27年度上期	H28年度上期	H29年度上期	対前年同期比(%)
コンサルティング・講師派遣	262	275	251	91.3

安全マネジメント関連講習会

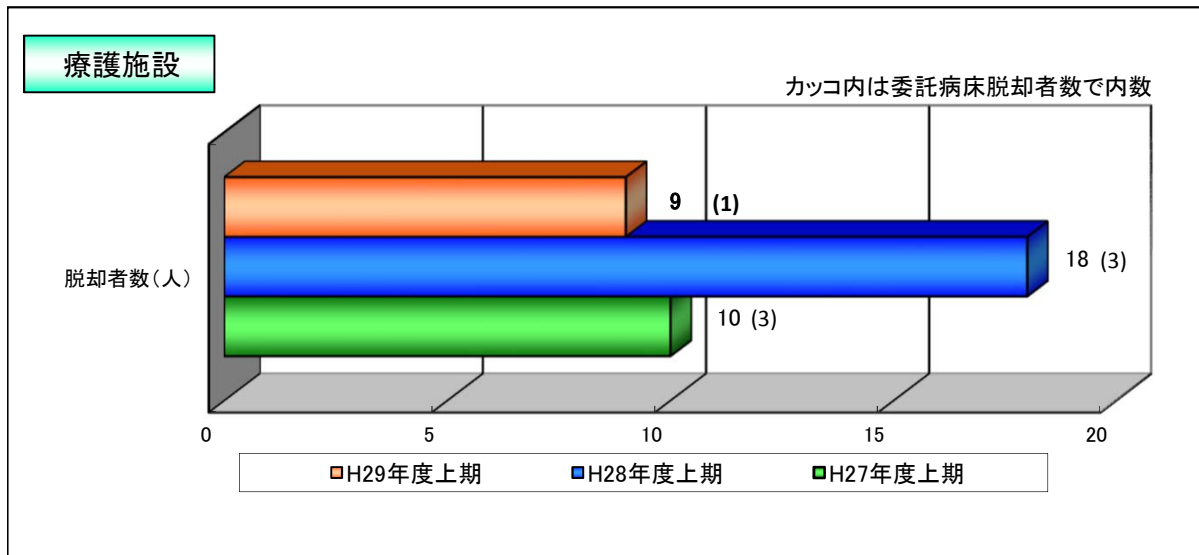
(単位: 人)



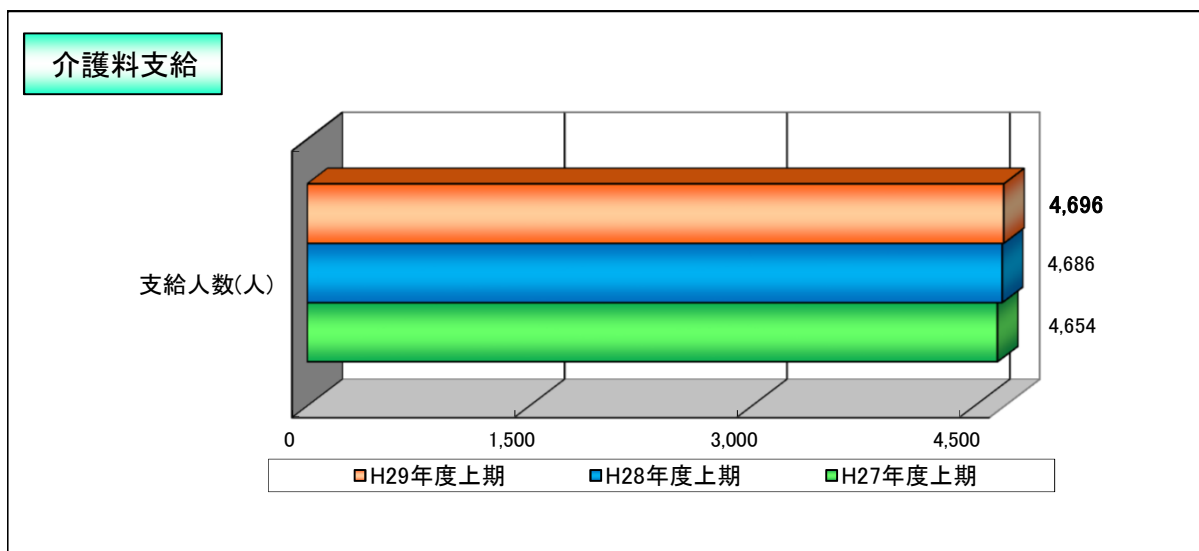
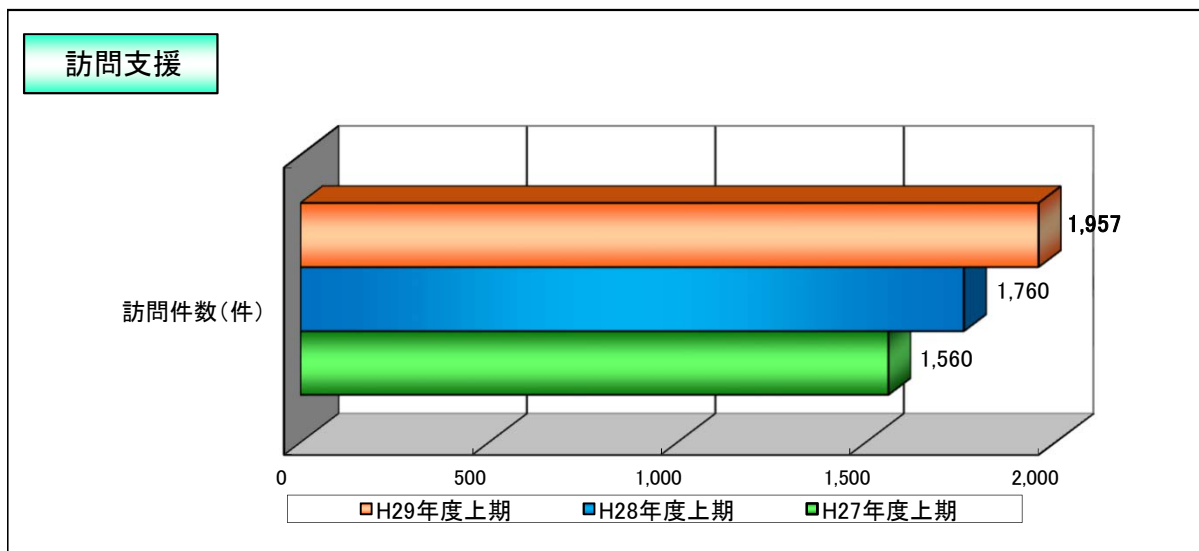
(単位: 人)

	H27年度上期	H28年度上期	H29年度上期	対前年度比(%)
安全マネジメント講習会	1,147	1,159	956	82.5
内部監査講習会	254	264	234	88.6
支援ツール講習会	333	421	432	102.6
合 計	1,734	1,844	1,622	88.0

5. 療護施設の設置・運営

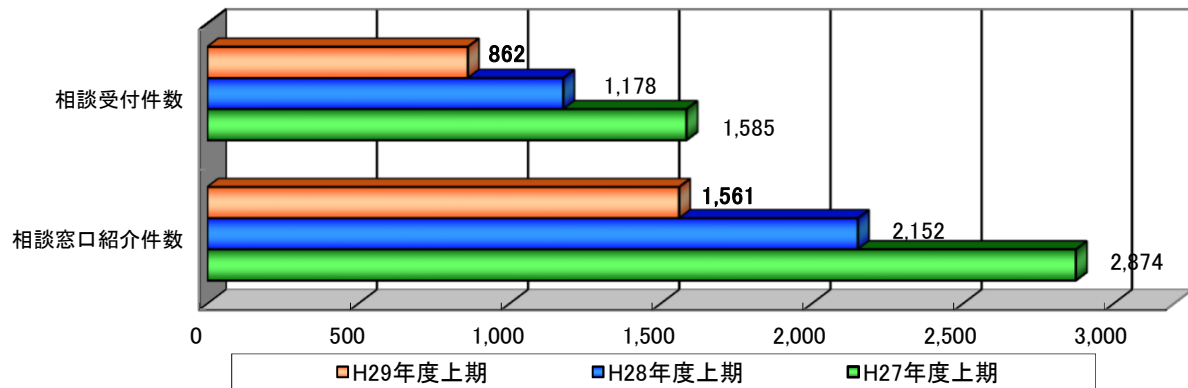


6. 重度後遺障害者に対する支援



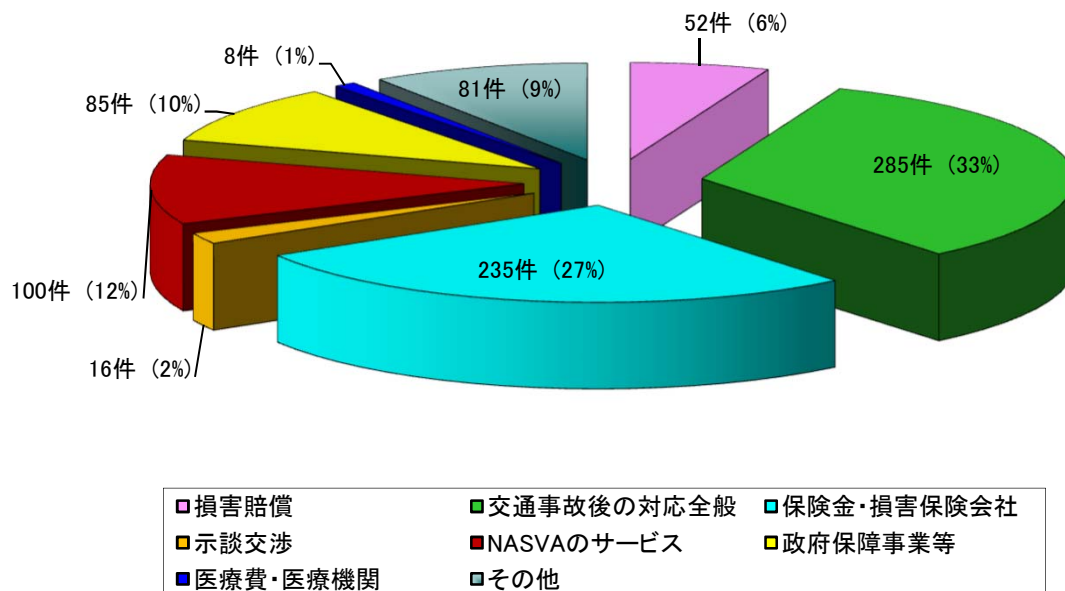
8. NASVA交通事故被害者ホットライン利用実績関係

(1) 相談受付件数及び相談窓口紹介件数



(注) 平成19年10月よりサービス開始

(2) ホットラインへの問い合わせ内容



(3) 紹介した相談窓口

